

TIP 誌 2008 年 1 月号 正誤表

1. p 3

誤

表 2 : 廣田班で得られたデータの構造

タミフル処 方の有無	異常行動あり		異常行動なし		合計
	区分	人数	区分	人数	人数
処方あり	(a) タミフル服用後に異常行動	700	(f) 服用記 入有	5953	7109
	(b) タミフル服用前に異常行動	285			
	(c) 服用記入有, 異常行動時間不明	171			
	(d) 服用無記入, 異常行動時間記入	32	(g) 服用無 記入	528	568
	(e) 服用無記入, 異常行動時間不明	8			
処方なし	(h) 異常行動時間記入	227	(j) いずれ もなし	1931	2192
	(i) 異常行動時間記入なし	34			

正

表 2 廣田班で得られたデータの構造

タミフル処 方の有無	異常行動あり		異常行動なし		合計
	区分	人数	区分	人数	人数
処方あり	(a) タミフル服用後に異常行動	700	(f)服用記 入有	5953	7109
	(b) タミフル服用前に異常行動	285			
	(c) 服用記入有, 異常行動時間不明	171			
	(d)服用無記入, 異常行動時間記入	32	(g)服用無 記入	528	568
	(e)服用無記入, 異常行動時間不明	8			
処方なし	(h)異常行動時間記入	227	(j)いずれ もなし	1931	2192
	(i)異常行動時間記入なし	34			

正誤の解説 :

□ 太枠部分が要訂正部分である。処方なし群中, 異常行動なし,

□ すなわち,

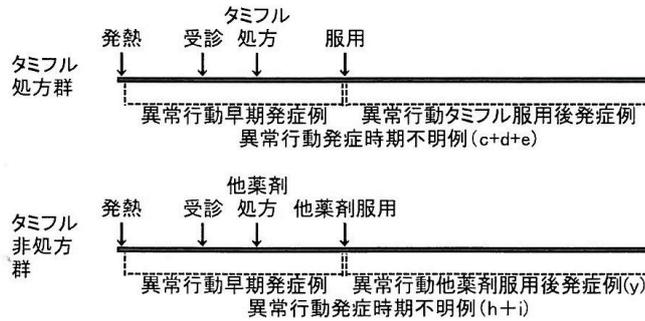
(j) いずれもなし の 1931 人は,
異常行動ありでは (h+i : 227 人+34 人) に対応する。
したがって、間の罫線は不要である。

2. p3	誤	正
p3 右列上から9行目	x1 や x2 で表したように	x で表したように
p3 表 3-1 最右列 3 行目	$B_1=f-x_1$	$B_1=f$
p3 表 3-1 最右列 3 行目	$C_1=h+i-x_2$	$C_1=h+i-x$
p3 表 3-1 最右列 3 行目	$D_1=j-x_3$	$D_1=j$
p3 表 3-3 表中	A_2+B_2	A_3+B_3
p3 表 3-3 欄外	D_2, C_2, A_2, A_2	D_3, C_3, A_3, A_3

3. p4 図3全体の変更が必要で（未完成の図でした。深くお詫び申し上げます）

誤

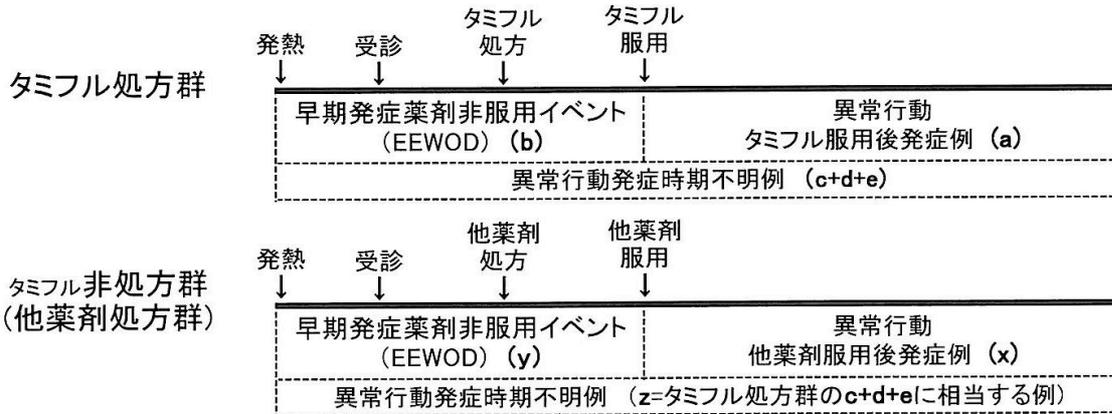
図3：全経過における異常行動の有無の記入欄（患者家族用）



異常行動早期発症例は、タミフル処方群にも非処方群にもいるはずだが、タミフル非処方群の異常行動発症例は、時期の区別がされていないため、タミフル処方群 (b) のように除くことができない。

正

図3 タミフル処方群・非処方群に同様に発症する早期発症薬剤非服用イベント(EEWOD)



早期発症薬剤非服用イベント(b、y)は、タミフル処方群(b)にも非処方群(y)にもいるはずだが、非処方群のイベント(y)は、タミフル以外の薬剤服用時間との前後関係による区別がされていないため、処方群の(b)のように除くことができない。非処方群の異常行動については $x+y+z=h+i$ ということ以外、その発生時期は全く不明である(x=処方群(a)に相当する非処方群の数、z=タミフル処方群のc+d+eに相当する非処方群の数)。
EEWOD:Early Event without Drug。「医薬ビジランスセンター(薬のチェック)作成(TIP誌で図示したこの部分は、タイトルおよび記号、記述が未完成でした。深くお詫び申し上げます。訂正のうえ、お読みください:著者)。

4. その他	誤	正
p5 左列 上から 15 行目	タミフル非服用例	タミフル非処方群
p6 表 7-2 欄外 4 行目	非タミフル非処方群	タミフル非処方群
p6 中列 上から 4 行目	非タミフル非処方群	タミフル非処方群